

---

# ラスト オブ ラブ

愚人

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ラスト オブ ラブ

### 【Nコード】

N7879H

### 【作者名】

愚人

### 【あらすじ】

40半ば過ぎの既婚男が、15才年下の女性に想いを寄せるラブストーリー。

## プロローグ（前書き）

主人公の年齢に近い男性、  
想われ人の女性に近い女性に特に読んで  
欲しいです。

## プロローグ

私は 40も半ばを過ぎた既婚の男：

15年程振りの恋をしている。15才も年下の女性だ。  
当然 片想い、そして多分 人生最後の恋だろう。

「小泉 瞬」（こいずみ しゅん）私の名だ。

彼女と知り合い、一年になる。仕事上の取引先会社の事務員をして  
いる。

初めて会った印象はというと、美人は美人である。長身でスタイル  
も良く、立っているだけなら ファッションモデルをしていると  
言っても 疑う人間はいないだろう。

髪は長く、金髪だ。それを後ろで束ねて、事務服をきて机に向かっ  
ていた。

少し、ケバい感があるが嫌味はない。

可愛い系が好みで、金髪の苦手な私の第一印象は、

「うわ、凄い女がいる」だった。

もつとも、こんな事を言われる筋合いは 彼女にはない。彼女  
からすれば私は、ただのオヤジでしかないのだから。

彼女の名は「祥子」と言う。

パチツとした大きすぎない二重の瞼。スツと鼻筋の通った小ぶりな  
鼻。あつさりした感じの薄めの唇。非の打ち所がないのだ。

あえて言うなら、少し舌つたらずで 行が苦手、女性にしたら  
少し低い声…

でも それさえ、逆にいい個性と理解されるに違いない。美人と  
はそういうもの、特である。

私はどういふ男かと言うと、自分で判断するしかないが、まあ 10才は若く見られる自信はある、が その程度。スリムではあるが身長は低めで、長身の彼女と同じ位しかない。

肝心な顔はと言うと、イケメンでは勿論なく、

「中の上」「ちゅうのちゅうのじょう」と いったところか？ 自己判断なので甘い評価ではある。

そんな私が、彼女に愚かにも、アプローチする訳だが、どうしてタ  
イプとはかけ離れた彼女に、となる。

私の素性、性格から話して行きたい。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7879h/>

---

ラスト オブ ラブ

2010年11月25日17時25分発行